



TITLE:

IV-VI族半導体の相転移(サブゼミ-誘電体,第24回物性若手「夏の学校」開催後記)

AUTHOR(S):

邑瀬, 和生; 楠田, 幸久

CITATION:

邑瀬, 和生 ...[et al]. IV-VI族半導体の相転移(サブゼミ-誘電体,第24回物性若手「夏の学校」開催後記). 物性研究 1979, 33(3): 141-141

ISSUE DATE:

1979-12-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/89880>

RIGHT:

原理から実験方法まで

2) hyperfine interaction について

i) 金属内電子から核がうける hyperfine interaction

ii) Knight shift, $1/T_1$

iii) 金属合金の場合についての Knight shift, $1/T_1$

iv) electron-electron interaction の効果

v) ordered state における内部磁場

3) 最近の研究から

弱い強磁性体 $ZrZn_2$ とその置換合金についての Knight shift, $1/T_1$ 及びその磁場依存の研究と弱い反強磁性体 Cr-V 合金の $1/T_1$ の磁場依存の研究

このあと、レポーターの広沢さん(京大)が Rare earth- CO_2 における内部磁場の研究を発表され、レポーターの小堀(阪大)が β Mn 合金における $1/T_1$ の研究を発表しました。

サブゼミ - 誘電体

「IV - VI 族半導体の相転移」

講師 阪大・理 邑瀬 和 生

世話人 関学大・理 楠 田 幸 久

誘電体としては異色な半導体の話をお願いしました。(pb, Sn, Ge)-Fe 及びその混晶は、高温で NaCl 型であり強誘電体的相転移をします。絶縁体には見られない電子系の効果に焦点をあてて、多くのスライドを用いての講義がおこなわれました。民宿の一室をかり畳の上で聞きましたので、足を痛めた方もおられたと思います。邑瀬先生には、論文の別刷、資料、スライド等を準備していただき、大変御迷惑をおかけしました。この欄をかりてお礼申し上げます。